



民主党神戸市会議員団 川原田弘子ニュース

ひろこだより VOL. 8

新しくなった中央卸売市場の視察に行ってきました。場外店舗には、5月からお店が入ります。

(上)中央卸売市場の場外店舗 (右)フルーツの競りの様子



～環境への投資が始まりました～

以前から、「環境と経済が両立する社会を目指そう!」と、訴えてきましたが、いよいよ世界的な規模で、「再生可能エネルギー・省エネルギー・農業も含めた環境保全に関する技術や、産業に対する投資を行って、地球温暖化を防止すると共に雇用を生み出そう」という動きが始まりました。アメリカのオバマ大統領を筆頭に、こうした動きが活発になっていますが、日本でも、日本版グリーン・ニューディールが始まってきています。

その1～住宅用太陽光発電に助成を行います～

STEP 1 国住宅用太陽光発電システム補助制度にまずは申込み!

平成21年4月以降に、自ら居住する住宅に対象システムを設置する個人で、電灯契約をしている方に、国から、太陽電池モジュールの公称最大出力1kWあたり7万円が補助されます。

お問い合わせ
ひょうご環境創造協会 TEL:078-735-2738 FAX:078-735-2738
神戸市環境局 TEL:078-322-6427 FAX:078-322-6427
http://www.jp-pec.or.jp/03application.html

神戸市内で自ら居住する住宅に、平成21年4月以降、国の補助を受けて、太陽光発電システムを設置する方に、早く設置した順で補助します。

STEP 2 国の補助を受け、8月までに設置して、実績報告を国に提出してください。

概ね完成順で100名様に、神戸市が併せて3万円を補助(最大10万円)します!

お問い合わせ
神戸市環境局地球環境課 TEL:078-322-6427 FAX:078-322-6427
神戸市エコホーム推進課 TEL:078-322-6427 FAX:078-322-6427

一般家庭に設置できる太陽光発電システムは、概ね3kWタイプが標準です。この場合、国から3×7万円市から3×3万円合計30万円の補助が得られることとなります。

その2～エコカーの導入促進を行います～

1. 公用車にエコカーを大幅導入
 - ・一般公用車は次世代自動車を基本とします。一般公用車以外(トラック・バス・特殊車両)は、技術開発が進み次第導入。
 - ・導入予定 一般公用車12台(電気自動車1台、ハイブリッド車10台、CNG車1台)
2. ゴミ収集車をエコカーに
 - ・導入予定 収集車30台(ハイブリッド車28台、CNG車2台)
3. 民間事業者へエコカーの導入助成
 - ・市内民間事業者がエコカー導入の際、国の助成に協調して経費の一部を助成。
 - ・通常車両との経費の差額1/6または1/12相当
 - ・助成予定台数 前年比3倍となる約90台(事業費 1,549万円)
4. 今年もエコカーフェアを開催
 - ・昨年はG8に合わせて開催、今年も行う
 - ・H21年5月16, 17日 メリケンパークにて開催予定
 - ・エコカーの展示・試乗(展示は約30台、事業費400万円)



その3～風力等の導入調査を行います～

環境省のガイドラインに沿って、市域の風力、太陽光、バイオマス等の自然条件を整理し、導入の可能性についての基礎調査を行います。特に、風力発電については、立地に適していると思われる沿岸地域において、①風況②風車の法的、技術的な立地可能性③周辺環境への影響の有無など、風力発電の導入可能性の調査を行います。(事業費300万円)



市内のごみ収集・クリーンセンターについて

ニュース#1 ごみが減りました!!

平成19年度は、事業系ごみに対して指定袋制度を導入するなどの減量対策によって、市全体のゴミ量は、72万トンから62万トンと、**対前年度比14%の削減**となりました。更に、昨年暮れの家庭ごみへの指定袋制度の導入によって、速報では、**対前年の同月に比べて18%の削減(燃えるごみでは15%)**となっています。

ニュース#2 落合クリーンセンターは焼却を停止します!!

ごみの量が削減されたことを考慮して、市内クリーンセンターの整備計画が見直されました。落合クリーンセンターは、当初、大規模改修を予定していましたが、**H21年9月末を目途に、焼却を停止し、他の施設で焼却を行うことになりました。**停止にあたっては、焼却施設までの距離が遠くなることから、可燃ごみの回収時間を考慮し、**脱臭などの施設改修を行った上で、ごみの中継施設として稼働することになっています。**

ニュース#3 新しいクリーンセンターの計画を進めています!!

同様に、市内の他のクリーンセンターについて、**計画的な修繕や建て替えを進めています**が、建て替えの時期を迎えている**港島クリーンセンターについては、将来的に廃止**します。また、**ポートアイランドⅡ期に、新たに整備を予定しているクリーンセンターについては、先日、学識者による検討委員会から「焼却の処理方式はストーカ炉方式」「整備手法はPFIなどを用いない従来方式(建設費と運営の効率化を前提)」で整備することが望ましいと提言**されました。